

# ムスリム観光客誘致へ

## マレーシア業者ら 岡山市などが招待 県内視察始まる

イスラム教徒（ムスリム）の観光客誘致につなげるため、岡山、真庭市、吉備中央町が連携してムスリムの多いマレーシアとインドネシアの旅行会社やメディア関係者を招いた視察ツアーが3日、始まった。8日まで県内の観光地などを巡る予定で、初日は「ヘルス

ツーリズム」を念頭に岡山市内の企業を視察した。

マレーシアの7人とインドネシアの4人、医療用品メーカーのダ

イヤ工業（同市南区古新田）で、製品の膝や腰のサポーターを試したり、体力年齢を測ったりした。同社のカフェでは同教の戒律に従った「ハラール」の昼食が出され、お祈りの場も設けられた。

4日以降は同市の岡山城や後楽園、真庭市



ダイヤ工業で脚の筋力を測る視察ツアー参加者

の湯原温泉、吉備中央町のきびの森植物園など計13カ所を訪れる。帰国後、ムスリム向けの旅行プラン作成や旅

行記事の執筆を手掛け、を企画しているザリナ・ジャン・ファズレィさんは「岡山はムスリムへの配慮が行き届き魅力的。ぜひ多くの

人に訪れてもらえるようにしたい」と話していた。（原英昭）

■本社HPに動画